

服用に際して、必ずこの説明文書をお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第②類医薬品

総合感冒薬

のどの痛み・発熱・せきに

ジキナ[®]IP錠

(イブプロフェン配合)

◆**ジキナIP錠**は、イブプロフェン、クレマスチンフマル酸塩、ブロムヘキシン塩酸塩など、計10成分を配合した総合感冒薬です。発熱やのどの痛みなど、かぜの諸症状に効果を発揮します。



使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

- 次の人は服用しないでください。
 - 本剤又は鶏卵によるアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
 - 15才未満の小児
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬)
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
(眠気があらわれることがあります。)
- 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。
- 服用時は飲酒しないでください。
- 5日間を超えて服用しないでください。



相談すること

- 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください。
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 高齢者
 - 本人又は家族がアレルギー体質の人
 - 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の症状のある人
高熱、排尿困難
 - 次の診断を受けた人
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
 - 次の病気にかかったことのある人
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病
2. 2. の場合は、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。
 - 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎
精神神経系	めまい
そ の 他	目のかすみ、耳なり、排尿困難、むくみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、じんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
腎障害	尿量が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って息苦しさ、だるさ、悪心・嘔吐、血尿・蛋白尿等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつばりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症状があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。)

裏面もお読みください。

間質性肺炎	空せき（たんを伴わないせき）を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。（これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けること。）
ぜんそく	

- (2) 5～6回服用しても症状がよくならない場合

（特に熱が3日以上続いたり、又熱が反復したりするとき）

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

便秘、下痢、口のかわき

効能・効果

かぜの諸症状（のどの痛み、発熱、悪寒、頭痛、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、せき、たん、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

用法・用量

次の1回量を1日3回、食後なるべく30分以内に水またはお湯で服用してください。

年 齢	1 回 量	1 日服用回数
成人（15才以上）	3 錠	3 回
15才未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

定められた用法・用量を厳守してください。

成分・分量 1日量（9錠）中

成 分	含 量	はたらき
イブプロフェン	450mg	熱を下げ、痛みをします。
クレマスチンフマル酸塩	1.34mg (クレマスチンとして1mg)	かぜのアレルギー症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ）を抑えます。
ジヒドロコデインリン酸塩	24mg	せき中枢の異常な興奮を抑えてせきをします。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg	気管支を広げ、せきをします。
リゾチーム塩酸塩	90mg(力価)	粘膜の炎症に効く酵素で、たんの粘度をさげて出しやすくします。
ブロムヘキシン塩酸塩	12mg	せきの原因となるたんを出しやすくします。
無水カフェイン	75mg	頭痛をします。
ベンフォチアミン（ビタミンB ₁ ）	25mg	発熱時に消耗しがちなビタミンを補います。
リボフラビン（ビタミンB ₂ ）	12mg	
カンゾウ乾燥エキス	133.93mg (原生薬換算量：937.5mg)	のどの炎症を抑えます。

添加剤：乳糖水和物、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、無水ケイ酸、クロスCMC-Na、ステアリン酸Mg、タルク、ヒプロメロース、マクロゴール、酸化チタン、三二酸化鉄 含有

〈成分・分量に関連する注意〉

本剤の服用により尿が黄色くなるがありますが、これは本剤中のリボフラビンによるもので心配はいりません。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
（誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。）
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

お問い合わせ先 株式会社 富士薬品（学術室）

電話 (048) 648-1118 9：00～17：30（土、日、祝日を除く）

製造販売元

株式会社富士薬品

埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目383番地